



七松小学校 学校だより

令和2年度

11月号

尼崎市立七松小学校

校長 江上佳宏

保護者や地域に信頼される学校づくり

～学校にとって、保護者様は、お子様を介する教育のパートナー～

教員の不祥事、いじめ対応や学力問題により、学校への不信感が懸念される時代となっています。

今や、学校教育は、家庭や地域の協力なしでは成り立たない状況にあり、保護者や地域との信頼関係の維持・向上を図ることが重要と考えます。

学校は、保護者や地域の信頼を得るため、学習指導や生徒指導の充実は何より大切であり、教員の指導力や資質の向上、教職員の協働体制が求められています。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年度は、とても、困難を極めています。学校を開くことによって、児童の様子や教職員の指導、学校の実態を保護者の皆様や地域の方々に見えるように情報発信し、連携・協力を一層推進することが必要と考えます。そこで、保護者の皆様や地域に一層信頼される学校づくりのため、以下の取り組みを進めます。

1 教職員の協働体制の更なる強化

教職員一人ひとりがもつ能力・個性を生かしそれを統合して学校の組織力として対応してまいります。個々の教員の授業や取り組み、担当職務の遂行状況の把握に努め、一人ひとりのもつよさを認め、励ますことにより、自分を生かす方法や手段を認識させるようにする。この上に立って、いじめや不登校、学力向上等の課題毎のプロジェクトチームを立ちあげる。課題によっては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を入れ解決を図ります。

2 教職員の指導力の更なる向上

学校は教育活動を通じて、児童に力をつけることが使命であり、教職員一人ひとりの力量が問われ、力量を高めることが保護者や地域の信頼を得ることに繋がると考えます。このため、教育委員会ははじめ、大学等外部講師を招聘し、実践的研修を推進しています。

本校 中野 穰 先生が、
尼崎南ロータリークラブ主催
「職業奉仕事業における職業功労賞」
を受賞されました。



学校は、子どもや保護者、地域の人々の願いや期待を受け止め、様々な人的・物的資源を生かし、教育活動を展開していかなければなりません。近年は、学校が進める教育活動について、保護者や地域の人々に十分理解が得られるような説明を行うことが大切になっています。

そのため、説明責任を果たし、信頼を深め、学校・家庭・地域が共に歩む学校づくりを推進したいと考えます。

まだまだ、新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年とは違う公開の仕方にはなりますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。